

Report

2011.3.31

北上信用金庫 平成22年度

新たな夢を。限らない挑戦を。
Go Challenge!
With SHINKIN 信用金庫

おみえ
見えしんきん
北上信用金庫のミニディスクロージャー

がんばろう! 岩手



地域との「**つながり**」を大切にしながら、
「**明日を、かなえる**」

**KITAKAMI SHINKIN BANK
REPORT 2011**

北上信用金庫の現況

この街と生きていく。
 **北上信用金庫**

信用金庫とは

信用金庫は、中小企業や地元の方々を会員とする協同組織形態の金融機関で、地域の中小企業の経営や住民の生活に役立つ金融商品や金融サービスの提供に努めています。

協同組織金融機関は、会員の相互扶助を基本理念とする非営利法人で、信用金庫は、融資については原則として会員に限定されていますが、その他の業務については、預金、為替、公共料金などの金銭収納、保険の窓販等、一般の銀行とほとんど変わらない金融機能を備え、会員はもとより、会員以外の方とも広く取引しています。



経営理念

地域金融機関として

「中小企業の健全な発展」

「住民生活の向上」

「地域社会の繁栄」

の実現に貢献する

それが為われわれは、

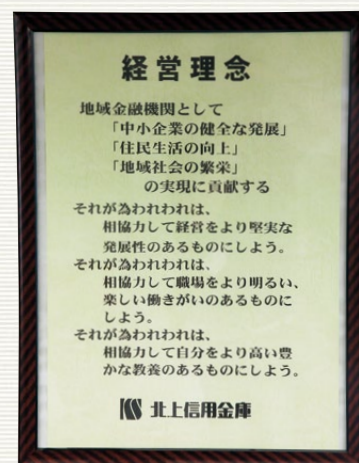
相協力して経営をより堅実な発展性のあるものにしよう。

それが為われわれは、

相協力して職場をより明るい、楽しい働きがいのあるものにしよう。

それが為われわれは、

相協力して自分をより高い豊かな教養のあるものにしよう。



当金庫の姿勢

当金庫は、昭和23年9月の創業以来、協同組織の金融機関として長年にわたり地域に根ざし、「地域金融機関として『中小企業の健全な発展』、『住民生活の向上』、『地域社会の繁栄』の実現に貢献する。」を経営理念に掲げ、相互扶助の精神を常に念頭におき、地域社会との共存共栄を図りながら、社会的使命とその役割を果たしてまいりました。

この姿勢は、今後も何ら変わることなく、地域の皆様から「愛され」、「信頼される」地域金融機関として、健全経営に徹するとともに、より一層の良質な金融商品とサービスの提供に努めてまいります。



信用金庫法（施行昭和26年6月15日）

（目的）

第一条

この法律は、国民大衆のために金融の円滑を図り、その貯蓄の増強に資するため、協同組織による信用金庫の制度を確立し、金融業務の公共性にかんがみ、その監督の適正を期するとともに信用の維持と預金者等の保護に資することを目的とする。

業績のご案内

平成22年度事業の概況

昨年度の国内経済は、前半は政府の緊急総合経済対策や日銀の包括的な金融緩和策など金融の安定化、景気回復に向けた政策展開などにより緩やかな回復傾向を辿っていたが、年後半は急激な円高の進行や株価の低迷などにより景気回復は減速し、足踏み状態で推移しました。そして、3月11日の国内最大 M9.0 の東日本大震災の発生により、岩手県をはじめとする東北地方などの沿岸部が津波による壊滅的被害を受け、国内経済の状況は一変しました。

当地域経済においては、2年連続で減少していた北上市の人口推移に歯止めが掛かり製造業等の一部業種で持ち直しの動きが見られたが、公共工事発注額は前年を下回ったほか、個人消費、住宅建設も低水準で推移、雇用環境も依然として低調に推移している中で発生した東日本大震災の影響は測り知れず、しばらくは不透明な状況が続くものと予想されます。

このような経済情勢の中、当金庫は長期3ヶ年計画「しんきん『つなぐ力』発揮 Go Challenge 2009」の中間年度として、「地域密着型金融の深化」、「独自性のさらなる発揮」、「永続性のある経営の確立」を基本方針として一層の地域貢献を果たすべく、取引先・会員への安定した資金供給や利便性の向上のため、各施策に積極的に取り組んでまいりました。特に、中小企業等金融円滑化法への取組みについては、取引先の実情に応じた貸出条件の変更等、きめ細かな対応に努めてきました。また、今年度より新たに次世代の経営者育成支援事業として「きたしん次世代経営塾」を創設し、6回の講座を開催いたしました。今後も、こうした活動を通じて地域社会との信頼関係を一層深め、持続的発展が可能な地域社会づくりと、地域の皆様にお役に立つ貢献活動を行ってまいりたいと存じます。

また、法令等遵守態勢については、反社会的勢力との関係遮断をより明確にするため「内部統制基本方針」を見直しているほか、コンプライアンス重視の企業風土の醸成に努め、規程等を整備し各種リスクに対応しております。

その結果、当期末の預金量は75,412百万円、貸出金45,175百万円となりコア業務純益ベースで343百万円、当期純利益87百万円の計上となりました。

自己資本比率は前期比0.01ポイント増加の16.43%となり、国内基準の4.00%を大きく上回る高い水準を維持しており、引き続き健全な資産状態にあります。

今後の当地域の経済環境は一段と厳しい状況が続くものと思われますが、当金庫はこれまで以上に地域金融機関としての使命と役割を自覚し、ガバナンスやコンプライアンス態勢、リスク管理態勢等の更なる充実・強化に努め、地域における円滑な金融機能の発揮のため、引き続き質の高いサービスを提供し地域社会の繁栄に貢献してまいります。

今後とも、なお一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。



主な経営指標

◎最近5年間の主要な経営指標の推移

	第59期 平成18年度	第60期 平成19年度	第61期 平成20年度	第62期 平成21年度	第63期 平成22年度
経常収益	1,849,442千円	1,844,639千円	1,942,283千円	1,835,099千円	1,845,319千円
経常利益（又は経常損失（△））	△ 812,606千円	200,238千円	64,347千円	169,268千円	356,395千円
当期純利益（又は当期純損失（△））	△ 658,519千円	127,606千円	110,923千円	79,352千円	87,058千円
出資総額	287百万円	290百万円	290百万円	293百万円	293百万円
出資総口数	575,258口	580,994口	581,610口	586,248口	586,728口
純資産額	5,074百万円	5,411百万円	5,457百万円	5,657百万円	5,752百万円
総資産額	74,492百万円	76,966百万円	79,637百万円	79,395百万円	81,820百万円
預金積金残高	69,165百万円	71,189百万円	73,680百万円	73,143百万円	75,412百万円
貸出金残高	46,319百万円	44,592百万円	46,378百万円	45,721百万円	45,175百万円
有価証券残高	10,987百万円	12,144百万円	14,448百万円	14,804百万円	15,227百万円
単体自己資本比率	15.51%	16.28%	15.77%	16.42%	16.43%
出資に対する配当金 （出資1口当たり）	11,465,656円 （20円）	11,548,688円 （20円）	11,589,947円 （20円）	11,621,175円 （20円）	11,647,890円 （20円）
職員数	100人	99人	99人	103人	102人

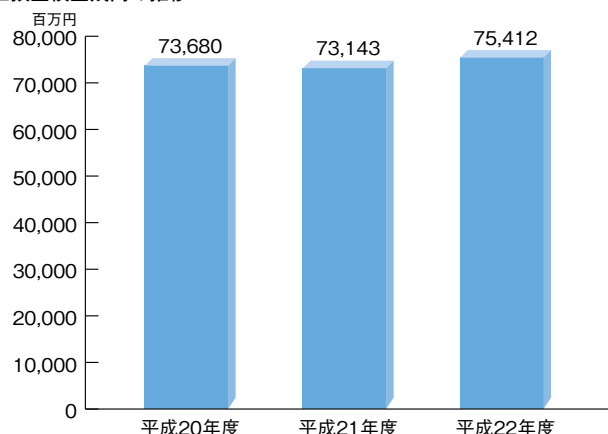
（注）残高計数は期末現在のものであり、総資産額には債務保証見返は含んでおりません。また、総資産額から貸倒引当金を控除して表示しております。

（注）単体自己資本比率は、平成18年度以降適用されている新自己資本比率規制に対応した値です。

業績のご案内

預金積金の状況

■ 預金積金残高の推移



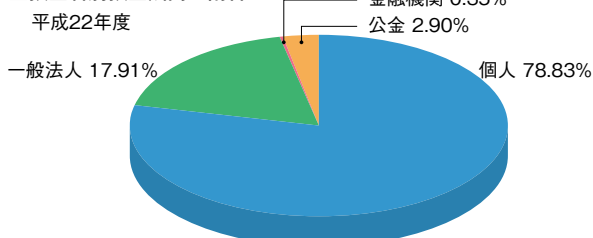
預金積金は、みなさまから信頼いただいているあかしです。

地域のお客様の着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、お客様の目的に応じた預金商品の開発とサービスの一層の充実を図っております。

預金積金残高は、前期比2,269百万円増加の75,412百万円となりました。

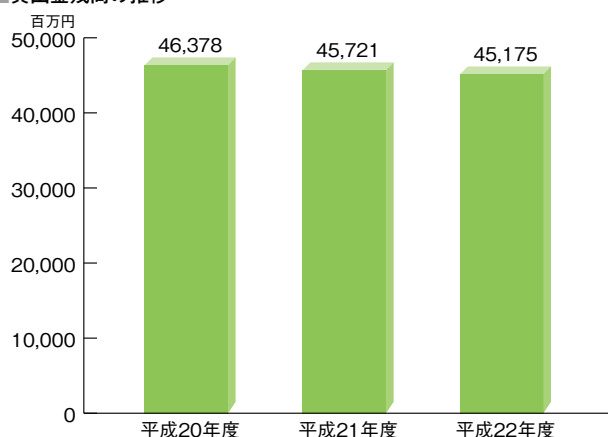
預金積金残高のうち、個人預金が78.83%を占めております。

■ 預金者別預金残高の割合



貸出金の状況

■ 貸出金残高の推移



お客様の資金需要に積極的にお応えしております。

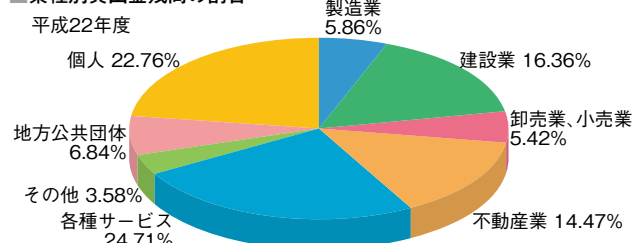
地元のお客様よりお預けいただいた大切なご預金は、地元で事業を営む事業者や個人のお客様にご融資することで、地域社会に還元しております。

貸出金残高は、前期比546百万円減少の45,175百万円となりました。

特定先や特定の業種にかたよることなく、幅広く貸出を行うことで地域の発展や活性化に活かされるよう努めております。

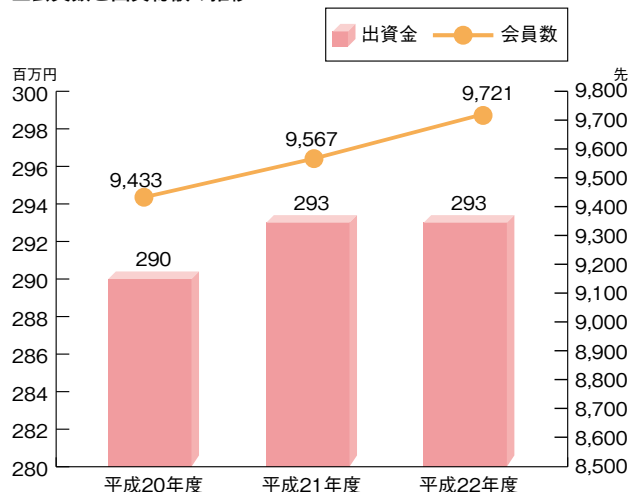
貸出金残高のうち、事業を営む事業者は70.39%、個人の方は22.76%の割合となっております。

■ 業種別貸出金残高の割合



会員の推移

■ 会員数と出資総額の推移

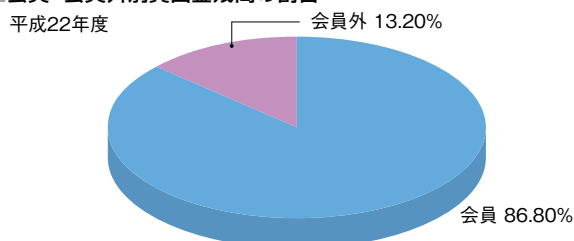


信用金庫は「会員制度」を基本とした地域金融機関です。当金庫会員は、会員数9,721名（出資金293百万円）で、北上市・西和賀町の人口99,968人（平成23年3月末）の約1割を占めております。

今後も、地域社会の発展のため、会員組織の一層の活性化を図ってまいります。

なお、出資1口（出資1口の金額500円）以上を有し、出資金は5,000円以上であることが会員資格要件のひとつとなっております。

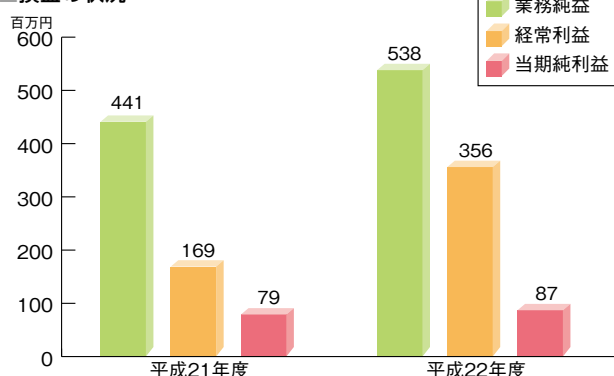
■ 会員・会員外別貸出金残高の割合



平成22年度の業績をご紹介します。

損益の状況

■損益の状況

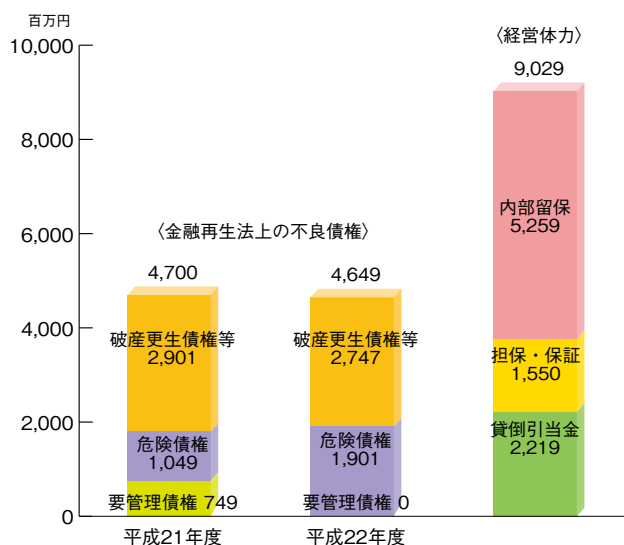


損益の状況につきましては、長引く景気の低迷により低金利政策が続くなか、資金運用収益が減少しましたが、資産の効率的運用と経費の節約に努めた結果、本業での利益を示す業務純益は538百万円を計上したほか、経常利益が356百万円、当期純利益が87百万円を確保いたしました。



金融再生法ベースの債務者区分による開示

■金融再生法ベースの債務者区分による開示



資産の健全性向上を図っております。

当金庫の金融再生法開示による不良債権は、前期比51百万円減少の4,649百万円となりましたが、不良債権比率は、同0.04ポイント上昇し10.14%となりました。

これら不良債権は、担保・保証や貸倒引当金により81.09%保全されているほか、内部留保を加えた経営体力9,029百万円によりカバーされております。

これら不良債権については、引続き回収を図るよう取組んでいるほか、お取引先の実態把握に努め、お取引先の経営改善に相協力して取組み、資産の健全性向上に努めております。

※金融再生法開示債権は、「貸出金」に加え、「債務保証見返」「未収利息」「仮払金」を対象債権としております。

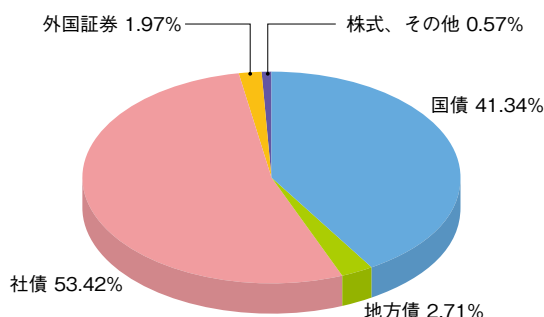
※「破産更生債権等」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

※「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権です。

※「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

有価証券の時価情報

■有価証券残高構成比



■売買目的有価証券

該当ございません。

■満期保有目的の債券

	平成22年度			
	貸借対照表計上額	差額	うち	
			うち益	うち損
満期保有目的の債券	1,414	△ 35	14	49

(注) 1) 「差額」は、貸借対照表計上額と時価との差額を計上しております。

市場関連リスクを考慮し、安全な運用に心がけております。

お客様からお預かりしております預金積金は、貸出金のほか有価証券等で運用しております。資金の公共性に鑑み、安全性や収益性に留意し、国債を中心に、地方債、公社公団債、金融債等で運用しております。

■子会社・子法人等株式及び関連法人等株式

該当ございません。

■その他有価証券

(単位：百万円)

	平成22年度			
	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	13,802	253	305	52
株式	33	△ 8	0	8
債券	13,726	275	305	29
その他	43	△ 13	—	13

(注) 1) 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。

2) 上記の「その他」は、信金中央金庫の優先出資証券です。

3) 「評価差額」は取得原価(償却原価)と貸借対照表計上額との差額を計上しております。

■時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位：百万円)

	平成22年度
	貸借対照表計上額
その他有価証券非上場株式	9



自己資本の充実の状況等について

自己資本の充実の状況

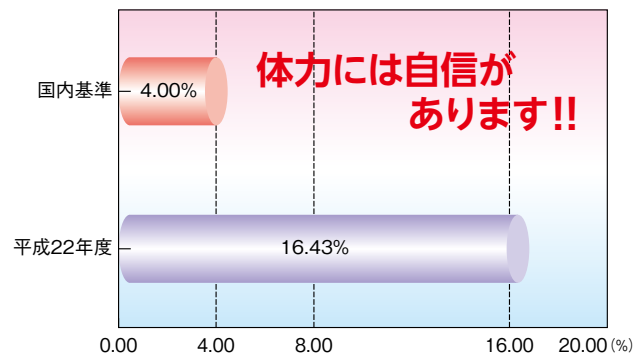
自己資本比率とは、リスク・アセット（総資産のうち、万が一の場合に貸し倒れの可能性がある資産、この資産に対して危険度に応じた割合を掛けて求めます。）に占める自己資本額の割合で、信用金庫の経営状況を把握する重要な指標です。自己資本比率が高ければ高いほど、財務の安全性・健全性が高く経営基盤が安定しているといえます。

当金庫の平成23年3月期の自己資本比率は16.43%で、国内基準の4%の4倍超、これだけでなく都市銀行など海外で営業している金融機関の基準値8%の2倍を超える高い水準を維持し、十

分な健全性を確保しております。

自己資本額は、前期比63百万円増加の5,775百万円となりました。自己資本額とは、出資金や過去の利益の積立金などです。

なお、税効果会計により自己資本額の中身に組み込まれた税効果資本は376百万円（自己資本額の6.52%）ありますが、この税効果資本を控除したあとでも自己資本比率は15.52%と高い水準にあり、税効果資本に頼らなくても、安全性・健全性が高く健全経営の源となっております。



$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本(基本的項目+補完的項目)} (5,775 \text{ 百万円})}{\text{信用リスク・アセットの額} + \text{オペレーショナル・リスク相当額} \times 8\% (32,258 \text{ 百万円} + (230 \text{ 百万円}) \times 8\%)} \times 100 = 16.43\%$$

■自己資本の構成に関する事項

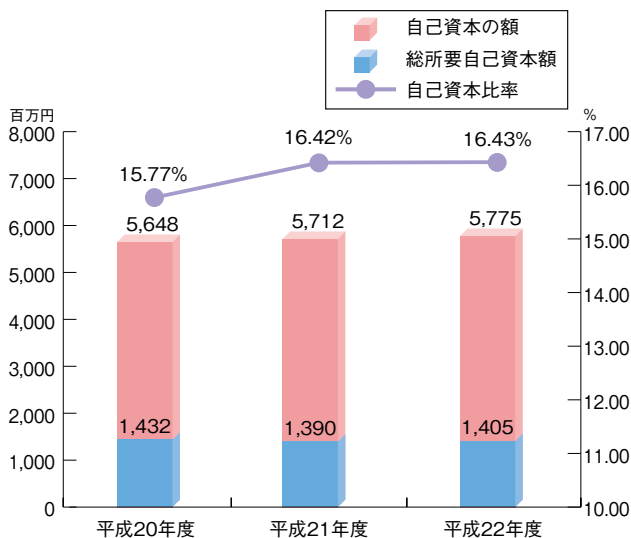
(単位: 百万円)

	平成21年度	平成22年度
基本的項目 (A)	5,477	5,552
出資金	293	293
利益準備金	293	293
特別積立金	4,510	4,510
次期繰越金	380	456
処分未済持分	—	△0
その他有価証券の評価差損	—	—
補完的項目 (B)	234	222
控除項目 (C)	—	—
自己資本額 (D) = (A+B-C)	5,712	5,775
リスク・アセット等計 (E)	34,767	35,145
資産 (オン・バランス項目)	31,138	31,571
オフ・バランス取引等項目	722	687
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	2,906	2,886
単体Tier1比率 (A/E)	15.75%	15.79%
単体自己資本比率 (D/E)	16.42%	16.43%

(注)

「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

■自己資本額・総所要自己資本額・自己資本比率の推移



■自己資本の充実度に関する事項

(単位: 百万円)

	平成21年度		平成22年度	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット 所要自己資本の額合計	31,860	1,274	32,258	1,290
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	31,138	1,245	31,571	1,262
ソブリン向け	150	6	191	7
金融機関向け	5,069	202	5,789	231
法人等向け	12,219	488	12,035	481
中小企業等・個人向け	3,066	122	3,727	149
抵当権付住宅ローン	2,455	98	2,027	81
不動産取得等事業向け	2,119	84	1,348	53
三月以上延滞等	1,149	45	987	39
その他	4,907	196	5,462	218
②証券化エクスポージャー	—	—	—	—
③複数の資産を裏付けとする資産のうち、個々の資産の把握が困難な資産	—	—	—	—
ロ. オペレーショナル・リスク	2,906	116	2,886	115
ハ. 単体総所要自己資本額 (イ+ロ)	34,767	1,390	35,145	1,405

(注)

- 「ソブリン向け」は、「我が国の中央政府及び中央銀行」「外国の中央政府及び中央銀行」「国際決済銀行等」「我が国の地方公共団体」「外国の中央政府等以外の公共部門」「国際開発銀行」「地方公共団体金融機構」「我が国の政府関係機関」「地方三公社」向けのエクスポージャーです。
- 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%
- 「エクスポージャー」とは、資産（派生商品取引によるものを除く）並びにオフバランス取引及び派生商品取引の与信相当額等のことです。
- 「三月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「ソブリン向け」、「金融機関および第一種金融商品取引業者向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。
- オペレーショナル・リスクは、当金庫は基礎的手法を採用しています。

<オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法>

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

- 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%



東日本大震災に対する対応

このたび、東日本大震災により、被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。
当金庫では、地域の復旧・復興に向けて全力を上げて皆様を応援してまいります。お気軽にご相談ください。

1. 被災者に対する預金払戻し等の取扱い

当金庫全営業店において、被災状況に応じて下記の通りお取扱いしております。

- (1) 預金証書、通帳がない場合でも、預金者本人であることを確認して払戻しに応じております。
- (2) 届出の印鑑がない場合には、拇印を押印していただき払戻しに応じております。
- (3) 事情によっては、定期預金、定期積金等の期限前払戻しに応じております。また、これを担保とする貸付にも応じております。
- (4) 今回の災害による障害のため、支払期日が経過した手形については、関係金融機関と適宜話し合いのうえ取立てに必ずすることとしております。
- (5) 災害時における手形の不渡処分について配慮することとしております。
- (6) 汚れた紙幣の交換に応じております。
- (7) 国債を紛失した場合には相談に応じております。

2. 被災地への物資支援

当金庫では、新型インフルエンザ感染防止対策として、サージカル・マスクの在庫を保管しておりました。衛生環境が悪化している被災地への物資支援として北上市を通じて、このサージカル・マスク（1,000枚）を寄贈しました。

3. 「災害復旧ローン」「岩手県中小企業復旧資金」の取扱い

震災により被害を受けられた地域の皆様の生活再建のための資金として「災害復旧ローン」の取扱いを開始したほか、災害復旧に必要な設備資金、災害の影響を受け経営安定のために必要な運転資金として「岩手県中小企業復旧資金」の取扱いを開始しました。

4. 「東日本大震災岩手復興応援定期預金」の取扱い

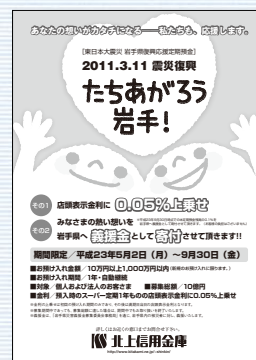
震災によって被害を受けられた岩手県内の災害者に対し、復興支援の一環として「東日本大震災岩手復興応援定期預金『たちあがろう岩手！』」の取扱いを開始いたしました。（取扱期間：平成23年5月2日～9月30日）同定期預金の預入総額の0.1%相当額（10億円達成の場合は100万円の寄付）を義援金として、岩手県災害復旧義援金募集委員会事務局を通じ、岩手県内の被災者に対し義援いたします。

5. 電力供給力低下に伴う節電対策

電力の供給力低下に伴う節電対策といたしまして、平成23年4月1日より平日のATMの稼働時間を短縮しております。お客様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

6. 「東日本大震災2千円募金」への協力

社団法人全国信用金庫協会が、信用金庫業界を挙げて全国の信用金庫及び関係団体等の役員に呼びかけ実施した「東日本大震災2千円募金」に当金庫役職員からも協力いたしました。寄せられた募金は、被災地域の地方公共団体に寄贈され、被災地域の方々の支援活動に役立たせていただくこととなっております。



金融ADR制度への対応

[苦情処理措置]

当金庫は、お客さまからの苦情のお申し出に公正かつ的確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ等で公表しています。

苦情は、当金庫営業日（午前9時～午後5時）に営業店（電話番号は裏表紙参照）または総務部（電話：0197-63-2307）にお申し出ください。

1. 苦情等のお申し出があった場合は、その内容を十分に伺ったうえ、内部調査を行って事実関係の把握に努めます。
2. 事実関係を把握したうえで、営業店、関係部署等とも連携を図り、迅速・公平にお申し出の解決に努めます。
3. 苦情等のお申し出については記録・保存し、対応結果に基づく改善措置を徹底のうえ、再発防止や未然防止に努めます。

[紛争解決措置]

当金庫は、紛争解決のため、当金庫営業日に上記総務部または全国しきん相談所（午前9時～午後5時、電話：03-3517-5825）にお申し出があれば、東京弁護士会（電話：03-3581-0031）、第一東京弁護士会（電話：03-3595-8588）、第二東京弁護士会（電話：03-3581-2249）の仲裁センター等にお取次ぎいたします。また、お客さまから各弁護士会に直接お申し出いただくことも可能です。なお、前記弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外の各地のお客さまにもご利用いただけます。



中小企業の再生と地域経済の活性化に向けて

地域密着型金融推進への取組みについて（平成22年4月～平成23年3月（平成22年度）の状況）

平成15年度以降、金融庁が取りまとめた2次にわたるアクションプログラムのもと、平成17年度から平成18年度を地域密着型金融推進計画の重点強化期間として、地域密着型金融の機能強化に向けた取組みを積極的に進めてまいりました。平成19年度以降についても引き続き、当金庫独自に地域密着型金融推進の計画を策定し取組んでおります。

① ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

- 中小企業相談支援チームを中心として支援先企業の経営改善に取組んでおります。
- 「経営者セミナー」「次世代経営塾」等を開催し、取引先企業の経営相談・支援機能の強化に努めております。

- 本部審査部と営業店の店長及び融資担当役席者で組織した中小企業相談支援チームが主体となり、支援先企業の経営改善の強化に取組みました。平成22年度は、支援先企業を27先選定し、事業再生計画書策定の指導および事業再生計画の進捗管理を実施したほか、岩手県中小企業再生支援協議会等の外部機関との連携や岩手県信用保証協会との協調支援などにより、支援先企業の経営改善に取組みました。（ランクアップ率0.0%）
- 平成22年3月に開講した「きたしん次世代経営塾」の勉強会を5月、7月、9月、11月の4回開催したほか、ビジネスマッチ東北2010の視察や懇親会を実施しました。「きたしん次世代経営塾」は若手経営者、次世代後継者の経営力強化と経営者同士の新たなネットワーク作りを目的として設立しました。経営コンサルタントによるセミナーやグループ討議、さらには受講者同士の情報交換の場を提供し、若手経営者、次世代後継者の育成支援に取組みました。
- 平成22年11月に「北上信用金庫経営者セミナー」を開催しました。「同経営者セミナー」は取引先への経営相談・支援機能の強化を目的に平成8年から毎年継続的に開催しております。



きたしん次世代経営塾



ビジネスマッチ東北2010視察



経営者セミナー

② 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- 不動産や第三者保証人等に過度に依存せず、定性情報を含めた地域での情報を活かして、取引先企業の事業価値を見極めた融資等の推進に取組んでおります。
- 取引先企業のそれぞれの状況に応じた資金調達の多様化に取組んでおります。
- 取引先企業の事業価値を見極める能力を向上させるため、各種研修への参加や研修の伝講会等を通して人材の育成に取組んでおります。

- 現場力の強化をめざした人材育成を図るため、全国信用金庫協会や東北地区信用金庫協会、岩手県信用金庫協会等が主催する外部研修に職員を派遣したほか、派遣した職員による伝講会を実施し、習得知識、手法の共有化を図りました。
- 信金中央金庫より講師を招き、「中小企業経営改善研修」を実施しました。厳しい業況が続く建設業界の経営改善に対するコンサルティングについて実務的な研修を行いました。

③ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- 地域経済全体を展望したビジョン策定への積極的支援等を通じて、地域で積極的な役割を果たしてまいります。
- 地域の次世代を担う世代や金融犯罪の標的になりやすい高齢者などへの「金融教育」実施による地域社会への金融知識の普及や、各種の金融相談等に取組んでおります。

- 平成23年1月に「北上信用金庫市政懇談会」を開催しました。「同市政懇談会」は平成7年より継続して開催しております。北上市長様より「北上市政の現状と展望」について講演をいただき、参加した取引先企業との間で、地域の諸問題・課題等について意見交換を行っております。
- 「しんきんマネースクール」を若者や高齢者の方を対象に開催しました。中学生・高校生を対象として、「お金の大切さ、働くことの大切さ、多重債務の危険性」について学習しました。また、高齢者の方を対象として、上手な資産運用などを題材に学習しました。
- 「認知症サポーター養成講座」を当金庫役職員102名が受講し、全店舗に認知症サポーターを配置しました。高齢化社会の中で認知症に対する正しい知識を学び、認知症の方やそのご家族、そして高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献してまいります。
- 「振込め詐欺」被害防止運動を8月、12月、2月の年金支給日に実施しました。全店ATMコーナーに職員を配置し、見回りを強化するとともに、金融犯罪防止を呼びかけました。また、渉外活動においても、年金受給者への定期訪問で金融犯罪への注意喚起を呼びかけました。



北上信用金庫市政懇談会



しんきんマネースクール



認知症サポーター養成講座



中小企業者等に対する金融の円滑化について

「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」を踏まえた対応措置等の概要について

当金庫は、地域の中小企業および個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、地域金融の円滑化に全力を傾注して取り組んでおります。

これからも、地域から信頼される金融機関を目指すとともに、金融円滑化の推進に向けた取組みを一層強化してまいります。

対応措置の実施に関する方針の概要

(基本方針)

地域の中小企業および個人のお客様への安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。私どもは、お客様からの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様、お客様の抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取り組めます。これらの対応措置の実施に関しては理事会で金融円滑化方針を決議の上、役職員一体となって取り組んでおります。

(態勢整備)

当金庫は、取組み方針を適切に実施するため、以下のとおり、必要な態勢整備を図っております。

①態勢整備を図るため理事会等において決議した事項

- ・基本方針、金融円滑化管理方針および金融円滑化管理規程等の策定
- ・本部に金融円滑化管理責任者（担当理事）、営業店に金融円滑化管理担当者（副本支店長）及び相談窓口担当者等の配置

②お客様へのきめ細やかな経営改善支援を行うための態勢整備

- ・中小企業相談支援チームを配置し、信用保証協会や中小企業再生支援協議会等との連携により支援に取り組んでおります。

③お客様の事業価値を見極める能力（目利き力）を向上させるための研修等

- ・毎年度、本部・営業店の融資担当職員を「目利き力養成研修」「企業再生支援実践講座」などの外部研修に派遣し目利き能力の向上に努めております。



貸付の条件の変更等の実施状況

平成21年12月4日から平成23年3月末までの累積実績は以下の通りです。

貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数と金額

〔中小企業のお客様向けの貸付債権〕

(単位：件、百万円)		
	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	322	4,504
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていなかった貸付債権	117	2,957
うち、実行に係る貸付債権	89	2,390
うち、信用保証協会が条件変更対応保証を応諾する旨の判断を示した貸付債権	0	0
うち、謝絶に係る貸付債権	13	215
うち、信用保証協会が条件変更対応保証を応諾する旨の判断を示した貸付債権	0	0
うち、審査中の貸付債権	6	225
うち、取下げに係る貸付債権	9	125
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権	205	1,546
うち、実行に係る貸付債権	166	1,215
うち、謝絶に係る貸付債権	17	114
うち、信用保証協会等が債務の保証を応諾する旨の判断を示した貸付債権	0	0
うち、審査中の貸付債権	10	105
うち、取下げに係る貸付債権	12	111

〔中小企業のお客様向けの貸付債権であって、当該中小企業者に対し他の金融機関も貸付債権を有する場合〕

(単位：件、百万円)		
	件数	金額
信用保証協会等による債務の保証を受けていなかった貸付債権に係る債務者以外の金融機関に対しても法の施行日以後に貸付けの条件の変更等の申込みが行われたことを確認することができた者から、貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	39	826
うち、実行に係る貸付債権	29	697
うち、信用保証協会が条件変更対応保証を応諾する旨の判断を示した貸付債権	0	0
うち、謝絶に係る貸付債権	9	128
うち、他の金融機関により法の施行日以後になされた貸付けの条件の変更等の実行を認識していた場合の貸付債権	0	0
うち、審査中の貸付債権	0	0
うち、取下げに係る貸付債権	1	0

〔住宅資金お借入のお客様向け貸付債権〕

(単位：件、百万円)		
	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	24	234
うち、実行に係る貸付債権	18	185
うち、謝絶に係る貸付債権	1	5
うち、審査中の貸付債権	0	0
うち、取下げに係る貸付債権	5	43

北上信用金庫と地域社会～地域社会の発展と活性化をめざして～

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、北上市、西和賀町を重点事業区域として、地元の中小企業や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助の金融機関で、地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金・積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民と強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供に止まらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

地域経済活性化のための お客様（会員様）へ の融資

地元のお客様よりお預け入れいただいた大切な預金・積金は、地元で事業を営む事業者や個人のお客様にご融資することで、地域社会に還元しております。

事業者のお客様

円滑な事業継続のための事業資金

DATA
設備資金
13,573百万円
運転資金
18,226百万円

個人のお客様

車購入・教育等様々なニーズ
にお応えする消費者ローン

DATA
3,712百万円

皆様の安定した暮らしの礎
に住宅関連資金

DATA
6,570百万円

会員数 9,721人
お客様（会員様）

預金・積金

出資金

DATA

預金・積金
75,412百万円
出資金
293百万円

DATA

貸出金
45,175百万円
貸出率 59.90%

平成22年度決算状況

業務純益	538百万円
経常利益	356百万円
当期純利益	87百万円
自己資本比率	16.43%

北上信用金庫



常勤役職員数 109名
店舗数 9店舗

貸出金

地域貢献

地方公共団体

北上市・西和賀町において道路整備事業・公園整備事業など公共施設の整備に活用される形で、地元の皆様に還元しております。

DATA
3,092百万円

DATA

預け金
20,828百万円
有価証券
15,227百万円
預証率 20.19%

支援サービス

その他運用

支援サービス

中小企業相談支援チームを設置し、お客様と親身になって話し合い、「企業再生」「創業支援」に向けて、金銭面だけではなく、生きた支援を心がけております。

お客様からお預かりした資金の一部を有価証券等で運用しております。資金の公共性に鑑み、安全性や収益性に留意し、国債を中心に地方債、政府保証債、金融債等で運用しております。

※データはすべて、平成23年3月末現在のものです。

地域行事への参加・協力

北上の夏を彩る「みちのく芸能まつり市民パレード」への参加。
各地域の諸行事への積極的な参加・協力。



みちのく芸能まつり
市民パレード



錦秋湖マラソン受付手伝い
(西和賀支店)



常盤台七夕まつり手伝い
(常盤台支店)

地域の未来を担う子供たちの健やかな成長を願って

少年サッカー大会、ソフトテニス大会、西和賀ジュニアSLスキー大会、野球部による少年野球教室、よいこのお絵かき大会、しんきんマネースクールの開催等。



北上信用金庫杯少年サッカー大会



北上信用金庫杯ソフトテニス大会

異業種交流・親睦を図る場の提供

きたしん会（きたしん会・信和会・西和賀しんきんクラブ・北上駅前しんきん友の会）・はばたきの会・ほほえみの会・きたしん健康友の会等を組織して、ゴルフ大会、ゲートボール大会、親睦旅行など様々なイベントを開催しております。



北上信用金庫ゴルフ大会

北上市より「北上市消防団協力事業所」と認定され表示証の交付を受けました。(平成22年6月)

北上市消防団協力事業所表示制度は、北上市が、複数の従業員を消防団員として入団させている事業所等に対して、消防団協力事業所表示証を交付し、地域における当該事業所等の社会貢献を広く広報するとともに、消防団及び事業所の協力体制を築き、地域における消防防災力の充実及び強化を図ることを目的としてスタートした制度です。

平成22年6月現在、当金庫役職員のうち10名が消防団で積極的に活動していることから、北上市より「北上市消防団協力事業所」として認定され表示証の交付を受けました。これからも、積極的に地域貢献に取り組んでまいります。



○本店

「きゅうり天王宮祭り」手伝い
「新穀町商店街宵宮祭り」手伝い
春・秋全国交通安全運動における黒沢尻西小学校通学路での交通安全指導
「本通り商店街夏祭り歩行者天国」催し手伝い

○藤根支店

「佐野公園」清掃活動(年3回実施)
「わがの里地域交流夏祭り」手伝い
「藤根商店街納涼会」手伝い
「社会福祉法人光栄感謝祭」手伝い

○西和賀支店

春・秋の全国交通安全運動における交通安全街頭指導及び黄色い羽根配布事業への協力
「錦秋湖マラソン」受付等手伝い
「山菜フェスタ」手伝い
「湯川温泉きのこまつり」手伝い
「しんきんゲートボール大会」開催
「雪あかり2011 in にしわが」への参加

○常盤台支店

春・秋の交通安全運動における交通安全街頭指導
「常盤台七夕まつり」への参加(七夕飾りの作成、夜店手伝い)

○大堤支店

「北上市総合運動公園内校の木栄養剤注入活動」への参加
「社会福祉法人立正会夏祭り」手伝い

○北上駅前支店

「黒沢尻26区駅前大通り花壇植栽活動」への参加
春・秋の交通安全運動における交通安全街頭指導
「北上駅西口地域安全連絡協議会地域パトロール」への協力
「しんきんゲートボール大会」開催

○柳原支店

春・秋の交通安全運動における交通安全街頭指導
「特別養護老人施設いよいよ夏祭り」参加手伝い

○むらさきの支店

「特別養護老人施設いよいよ」慰問活動

○東支店

「山の神社奉納祭大演芸会」への参加
「しんきんゲートボール大会」開催

文化活動

文化講演会、経営者セミナー、市政懇談会等の開催。



きたしん文化講演会

交通安全・環境への取組み

街頭での交通安全指導、地域の清掃活動・花壇の植栽活動等

◆トピックス

- 平成22年 4月18日 第9回北上信用金庫杯少年サッカー大会
北上市総合運動公園(参加12チーム)
- 5月18日 きたしん次世代経営塾(第2回)
- 6月11日 総代モニター会
ホテルシティプラザ北上(総代58名出席)
- 6月15日 「信用金庫の日」PR運動(全店)
- 6月18日 第62回通常総代会 ホテルシティプラザ北上
- 6月22日 しんきんマネースクール(専大北上高校)
- 6月30日 北上市より北上市消防団協力事業所認定を受ける
- 7月 2日 しんきんマネースクール(西和賀町ほのぼの学園学習会)
- 7月 6日 きたしん次世代経営塾(第3回)同経営塾懇親会
- 7月11日 第36回北上信用金庫ゴルフ大会
栗駒ゴルフ倶楽部(参加者231名)
- 8月 2日～27日 よいこのお絵かき大会 各店ロビー(作品数550点)
- 8月 7日 北上みちのく芸能まつり市民パレード参加
本通り商店街夏祭り歩行者天国にてアンパンマン握手会
- 9月14日 認知症サポーター養成講座を受講(役職員102名)
- 9月16日 きたしん次世代経営塾(第4回)
- 10月 1日 しんきんマネースクール(湯田中学校)
- 10月 4日～6日 きたしん健康友の会旅行(庄内と越後の旅)
- 10月13日 年金無料相談会(本店)
- 10月14日 第17回きたしん文化講演会 さくらホール
講師:高木 美保氏、演題:魅力的に生きる(聴講者981名)
- 10月27日 きたしん次世代経営塾ビジネスマッチ東北2010視察
- 11月 9日 経営者セミナー ホテルシティプラザ北上
講師:(株)タナベ経営 中東 和男氏
演題:人づくりが会社を成長させる
- 11月16日 きたしん次世代経営塾(第5回)同経営塾懇親会
- 11月17日 しんきんマネースクール(専大北上高校)
- 平成23年1月 7日 北上信用金庫市政懇談会
ホテルシティプラザ北上(参加者263名)
- 1月10日 第10回北上信用金庫杯ソフトテニス大会
北上市総合体育館(参加60組120名)
- 1月29日 第1回西和賀ジュニアSLスキー大会
西和賀町湯田スキー場(参加者69名)
- 2月15日 きたしん地域応援資金取扱開始
- 2月17日 年金無料相談会(北上駅前支店)
- 3月11日 東日本大震災
(東北太平洋沖地震M9.0発生14時46分)
- 3月18日 災害復旧ローン取扱開始

ATM休止のお知らせ

当金庫は、新コンピュータシステムへの移行準備のため、ATMなどの全てのオンラインサービスを下記の通り、休止させていただきます。お客様には、大変ご不便をおかけし申し訳ございません。お引き出し・お振り込み等、お早めにご準備いただきますようお願い申し上げます。

**8月7日
(日)**

他の金融機関ATM、ゆうちょ銀行ATM、セブン銀行ATM、コンビニATMはご利用いただけます。
(なお、ご利用には当該金融機関所定のATM利用手数料がかかります。)

**9月17日
(土)**

**9月18日
(日)**

**9月19日
(月)**

上記3日間は、全てのオンラインサービスが終日休止となります。他行やコンビニATM等での引き出し等もできませんので、お早めにご準備いただきますようお願い申し上げます。

充実したネットワーク

店舗のご案内

※北上信用金庫金融機関コード「1154」(全店共通)

本 店	(店番号 001)
〒024-0094 北上市本通り1-5-30	TEL 0197-63-2307
藤 根 支 店	(店番号 002)
〒024-0073 北上市下江釣子11-75-3	TEL 0197-73-5231
西 和 賀 支 店	(店番号 003)
〒029-5512 和賀郡西和賀町川尻40-40-50	TEL 0197-82-2220
常 盤 台 支 店	(店番号 004)
〒024-0012 北上市常盤台2-13-28	TEL 0197-63-6171
大 堤 支 店	(店番号 005)
〒024-0055 北上市大堤南1-4-23	TEL 0197-67-2332
北上駅前支店	(店番号 006)
〒024-0061 北上市大通り2-3-4	TEL 0197-65-3281
柳 原 支 店	(店番号 007)
〒024-0083 北上市柳原町2-1-54	TEL 0197-63-2244
むらさきの支店	(店番号 008)
〒024-0004 北上市村崎野15-268-4	TEL 0197-66-3133
東 支 店	(店番号 009)
〒024-0022 北上市黒沢尻2-4-13	TEL 0197-63-8511

北上信用金庫の概要

(平成23年3月末現在)

名称…北上信用金庫 (英文名称: The Kitakami Shinkin Bank)
創立…昭和23年9月3日
常勤役職員数…109名 うち常勤役員7名
店舗数…9店舗
総資産…82,473百万円
資金量…75,412百万円
常勤役職員1人あたりの資金量…691百万円
出資金…293百万円
会員勘定…5,564百万円
自己資本比率…16.43%
会員数…9,721名

店外キャッシュコーナー

さくら野北上店	スーパーオセン北上店(共同)	岩手県立中部病院(共同)
北上済生会病院(共同)	北上オフィスプラザ(共同)	岩手東芝エレクトロニクス(共同)
ビックハウス北上店(共同)	北上駅(共同)	湯本出張所
アメリカンワールド(共同)	江釣子ショッピングセンター	沢内出張所(共同)
サンクス北上藤根店	北上金属工業協同組合	

地元とともに



北上信用金庫

〒024-0094 岩手県北上市本通り一丁目5番30号
TEL 0197-63-2307(代)
ホームページアドレス <http://www.kitakami.ne.jp/~shinkin/>
e-mail shinkin@kitakami.ne.jp